

# グローバルな情報専門職を目指して —ドイツの大学図書館が教えてくれたもの—

板垣和美

## 1. Einleitung

2001年夏、約3週間かけて、ドイツ各地の大学図書館を訪問した。2002年4月から始まるケルン大学図書館での研修の前にドイツの図書館をこの目で見て、そこで働く図書館員と直接話したかったから。日本にいても入ってくる情報はアメリカのことだけ。それなら自分で見に行くしかない……というわけで7月からメールでアポをとりプランを立てた。ドイツには約80の総合大学がありこれらの大学の図書館は700館以上である。(その他に専門大学図書館は約400館ある) その内28の大学図書館 (Universitätsbibliothek 以下 UB と略す) にメールを送ったところ「歓迎します」という心温まる答えが即座に返ってきた。一図書館員がプライベートで訪問するだけなのに、サービス、カタログの各担当者が時間を調整して待っていますというところもあり、館内をぶら~っとみてOPACで検索するくらいでいいやなどという安易な考えはもろに打ち砕かれた。日本の大学図書館の現状を説明し、ドイツの大学図書館の何について知りたいのか、質問事項をまとめた。

返信が遅れて時間調整がつかなかった大学もあるため実際に訪問できたのは15校。Frankfurt a. M, Erlangen, Stuttgart, München, Köln を拠点として一日2館訪問することを目標にした。(別表1) 移動時間や自分が方向音痴であることを考慮しなかったことを後悔するとは思わず「よっしゃあ」と気合いを入れてフランクフルト空港に降立ったのは8月15日、**frisch darauf los!**

## 2001 Sommer in Deutschland

15.08(Mi)	Frankfurt a.M. ankommen				06151/165850
16.08(Do)	Darmstadt	Hessischen Landes- und Hochbibliothek Darmstadt	Karin Berst	16:00Direktor	06131/39-22644
17.08(Fr)	Mainz	Universitaetsbibliothek Mainz	Andreas Anderhub	10:00-14:00	069/212-39222
18.08(Sa)	Frankfurt a.M.	Stadt- und Universitaetsbibliothek Frankfurt	Ellen Hass	16:00Uhr	
19.08(So)		ab→Erlangen			
20.08(Mo)	Erlangen	Universitaet Erlangen-Nuerunberg	Karl Schletz		09131/85-23950
21.08(Di)	Bayreuth	Universitaet Bayreuth	Detlev Gassong	Nachmittag	0921/553420
22.08(Mi)	Bamberg	Bamberg		frei	
23.08(Do)		ab→Stuttgart			
24.08(Fr)	Hohenheim	Universitaetsbibliothek Hohenheim	Borkowski od. Aiple	14:00-16:00	0711/459-2088
25.08(Sa)	Heilbronn	Heilbronn Herr Schanbacher anrufen	Michael Schanbacher	10:33 Hbf.	07131-504301
26.08(So)		Hochschulbibliothek Heilbronn			
27.08(Mo)	Tuebingen	Universitaetsbibliothek Tuebingen	Heidemarie Griewatz	14:00Uhr	07071/2972577
28.08(Di)		Universitaet Stuttgart		frei	
29.08(Mi)		ab→Muenchen			
30.08(Do)	Muenchen	Universitaetsbibliothek Muenchen	Frau Dr. Blum-Klima	10:00Uhr	089/2180-3440
31.08(Fr)		Technische Universitaet Muenchen	Martina Zeisig	14:00Uhr	089/289-23333
01.09(Sa)		ab→Koeln			
02.09(So)					
03.09(Mo)	Wuppertal	Bergische Uni.-Gesamthochschule	Dr. Becker	10:00Uhr	0202/439-2689
04.09(Di)	Koeln	Deppingさんに会う			0221/470-2351
05.09(Mi)	Bonn	Universitaets- und Landesbibliothek Bonn	Renate Vogt	13:00Uhr	0228/73-7350
06.09(Do)	Essen	Universitaetsbibliothek Essen	Sabine Bartnik	10:00-12:00	0201/183-3735
	Bochum	Ruhr-Universitaet Bochum	Erda Lapp	14:00Uhr	0234/322-2350
		ab→Frankfurt a.M. Mutti & Vati			

## 別表 2

### Fragen

#### Benutzung

1. Ab wann kann man die Bibliothek benutzen ?
2. Gibt's die Beschränkung zwischen die Studenten und anderen Benutzer/?  
(z.B. wieviele Bücher kann man einmal ausleihen ? und wie lange ?)
3. Öffnungszeiten

#### Internet+OPAC

1. Jeder kann Internet benutzen ? Ist Kennwort nötig ?
2. Bestand Retrokonversion ist schon fertig ?
3. Elektronische Produkte
4. Elektronische Zeitschriften und Zeitungen
5. Elektronische Datenbanken

#### Recherche zur Studenten

1. Wie machen Sie für die Studenten die Führung ?
2. Ist die Schulung Pflicht, oder freiwillig ?
3. Wie macht man gegen die Benutzer ausser Studenten ?

#### Katalogisierung und Klassifikation

1. Wie macht man Katalogisierung ?
2. Welche Ordnung für die Katalogisierung benutzen Sie ?
3. Haben Sie "Union Catalogue" ( z.B. In USA=LC MARC, in England=UK MARC)
4. Klassifikation ? DC ? oder Deutsche Bibliothek ? oder noch andere ?
5. Nicht alphabetische Buchstaben (japanisch, chinesisches, koreanisch, russisch, arabisches... usw.)

#### Status der Bibliothekaren

1. Die Leute, die in Bibliothek arbeiten, sind alle Bibliothekare ?
2. Wie meinen Sie die Bibliothekare ?

#### Konsortium

1. An welcher Konsortium nehmen Sie teil ?
2. Was macht man in Konsortium ?
3. Muss man Gewähr zahlen ?

各図書館に対する質問事項は次の通り

学生以外でも利用可能か。学生と学外者では利用に差があるか。(貸出冊数、期間) インターネット利用の仕方。利用者ガイダンスをどのように行っているか。目録規則・分類法。日本語やロシア語などいわゆる特殊文字資料の取り扱い。遡及の進捗。図書館員のステータス。コンソーシアム etc. (別表2) 回答は別表3にまとめた。(図書館員のステータスとコンソーシアムについては各館紹介の後で述べる。)

別表3

利用に関する質問とその回答

	大学図書館であると同時に公共図書館でもある	利用者の年齢制限	学生と学外者で貸出冊数、期間に差があるか	貴重書以外開架である	インターネットの利用は自由?	OPACで貸出予約ができるか?	EJの全文コピー可能	自宅からでも外部DBやEJにアクセスできるか	全資料遡及されているか	図書館利用ガイダンスを行っている?
Darmstadt	○	18歳以上	×	○	○	○	×	×	×	○
Mainz	×	なし	×	×	×	来年から	×	×	×	○
Frankfurt	○	なし	×			○	○有料	×	×	○
Erlangen	×	18歳以上	×	×	×	○	○有料	×	×	○
Bayreuth	×	17歳以上	○	×	×	○	×	×	×	○
Hohenheim	×	なし	×	○		○	×	×	×	○
Heilbronn	○	18歳以上	×	○	×	×	必要なし	×	×	○
Tubingen	×	16歳以上	×	雑誌は閉架	○	○	○有料	×	50%済み	○
Munchen	×	なし	×		×	○	○有料	×	50%済み	○
TUM	×	18歳以上	×			○	○有料	×	×	○
Wuppertal	○	なし	×	雑誌は閉架	×	○	○有料	×	○	○
Koin	○	18歳以上	×	雑誌は閉架	×	○	○有料	×	60%済み	○
Bonn	○	18歳以上	×	雑誌は閉架	×	○	○有料	×	×	○
Essen	○	18歳以上	×	○	×	○	○無料	×	○	○
Bochum	○	18歳以上	×	雑誌は閉架		○	○有料	×	×	○

- ①ドイツは教育・文化の面で連邦性が強く大学の財源は州によって賄われているため大学図書館であると同時に公共性を有している。
- ②利用者の年齢について18歳というのはドイツでは高校(Gymnasium)の卒業試験(Abitur)を受ける年齢
- ③唯一学生と学外者に利用の差があったBayreuth、学生は1ヶ月に対し学外者は2週間。教員と学生で貸出冊数や期間に差はあるが学外者ということで区別することはない。
- ④閉架にあるのは製本雑誌でカレントはもちろん開架である
- ⑤OPACは自由に使えるがインターネットは利用者IDとパスワードが必要。(図書館にユーザー登録する) メール用の端末コーナーを設置しているUBもある。
- ⑥学内所蔵の資料だけでなく他大学所蔵の資料もリクエスト可能。
- ⑦オンラインジャーナルの全文コピーが×のところはプリントアウトではなくCDやFDにおとすかE-MAILで自宅へ送る方法を取っている。
- ⑧自宅からでも大学にダイヤルアップして接続する登録をすれば外部データベースやEJへの接続は可能である。
- ⑨遡及に関しては資料数が膨大なため長期ビジョンで取り組むUBが多くカードでの検索もしている。
- ⑩ガイダンス(Recherche Schulung)についてはHPで募集して実施するUBがほとんどだが義務ではないので全学生が参加するわけではなくInformation担当者は学生集めに悩んでいるという。
- ⑪リストには載せなかったが日本語など特殊文字の資料のデータはどのようにしているかという問いについてはすべての図書館がアルファベットでデータを作成している。

## 2. Besuch der UB

### Darmstadt (ダルムシュタット)

#### Hessische Landes- und Hochschulbibliothek Technische Universität Darmstadt

最初の訪問大学は70年前までヘッセン・ダルムシュタット大公国の大公達の居城だったため図書館にも荘厳な雰囲気が漂っている。中世の建物の中に並ぶパソコン、不思議な空間だった。しかし学生達は普通にモニタにむかっている。レファレンスルームは天井に届くほど高い書架に本が並んでいる。私を歓迎してくれた館長はお土産の葉書（中京大学図書館所蔵の古典籍善本紹介）に多大な興味を示し、作品の一つ一つについてその時代背景や内容を質問した。

### Mainz (マインツ)

#### Johannes-Gutenberg-Universität

メールで日程調整している時からとても真剣に訪問プランを考慮してくださり各部署の担当者と個別に話すことができた。中央館の他に9館のUBを有する大規模な大学で、図書館で働く人は130人、蔵書数3百万。遡及入力スタッフは30人（も）いるが全資料を遡及するのにあと5年にかかるとのこと。

ドイツの大学はほとんどが国立（ドイツは独立性の強い16の州から成る連邦国家なので州立ともいえる）で、州ごとにコンソーシアムがある。ここマインツはヘッセン州なので Hessischer Verbund（ヘッセン州コンソーシアム）に属しフランクフルトで作られるデータを取り込んでいる。（別表4）（別表5は同データのOPAC表示）目録規則はRAK（アルファベット順目録規則）を採用している。

ドイツ国内のコンソーシアムについては後で詳細に説明するが、ドイツにはよく組織され高度に発展した図書館間相互貸借システムが国家規模で存在するため「コンソーシアムなんて何をいまさら」といった感がある。相互貸借はもちろんのこと電子ジャーナルの購入やデジタルアー

別表 4




Eingabe: 6000:29-09-87 Änderung: 6001:04-02-00 19:51:02 Status: 9999:99-99-99


0500 Aauc  
1100 1987 \$ 1987  
1140 z  
1401 0  
1500 /1ger  
1700 /1de  
2000 3-87387-278-1  
2065 871153971  
2105 88,A07,1017  
3000 Peter@Petersen  
4000 Der @Therapeut als Künstler : ein integrales Konz von cho pie und Kunstth  
4030 Paderborn : Junfermann  
4060 262 S.  
4061 Ill., graph. Darst., Noten  
4170 Kunst, Therapie, Kreativität ; 5  
4180 #15#!009581014!@Reihe Kunst, Therapie, Kreativität ; 5  
4201 Literaturverz. S. 243 -250  
5050 33;11  
5100 !085133132!Psychotherapeut / Klient  
5101 !085133140!Psychotherapie  
5102 !085424870!Kunsttherapie  
2080 070764999  
4901 04-08-95 01:07:34.512  
7001 20-08-90 : h  
7100 FB 11.3 Pädagogik !059! @ d %FB 11 3%  
7901 04-08-95 01:07:34.513  
7800 070765006  
7002 11-02-93 : h  
7100 FB 12.5 Psychologie !069! @ d %FB 12 5%  
7901 04-08-95 01:07:34.547  
7800 074045164

カイクも共同で推進されている。Global Resource Sharing（情報・資源の共有）がこともなげに行われているのを目の当たりにすると私立と国立の違いがあるとは言え、どうしてこの状況が日本では実現できないのか、情報を共有し、提供しようという motivation が足りないのかと深く考えさせられた。

別表 5

||| *ub@internet*

 *Katalog-  
menü*    *Such-  
menü*    *Mail*

 *Hilfe*

Pica 1999 ©

Suche   ▼   Titelstichwoerter   ▼   \_\_\_\_\_

Bestand der UB Mainz ohne FB 23

[Vorherige Seite](#)   [Nächste Seite](#)   [Kurzliste](#)   [Suchverlauf](#)   [Download](#)

**Suche** (Titelstichwoerter) **therapeut als kuenstler**  
Die Suchanfrage ergab 2 Treffer, dies ist Treffer 2

 **Abspeichern**

Petersen, Peter:

Der Therapeut als Kuenstler : ein integrales Konzept von Psychotherapie und Kunsttherapie / Peter Petersen. -

Paderborn : Junfermann, 1987. - 262 S. : Ill., graph. Darst., Noten

(Kunst, Therapie, Kreativitaet ; 5)

Literaturverz. S. 243 -250

ISBN 3-87387-278-1

Schlagwoerter: Psychotherapeut / Klient ; Psychotherapie ; Kunsttherapie

1 Paedagogisches Institut (059)

Standnummer: FB 11.3 Paedagogik

Fachbereichsbestand, keine Fernleihe

2 Psychologisches Institut (069)

Standnummer: FB 12.5 Psychologie

Fachbereichsbestand, keine Fernleihe

▶ [zugehörige Veröffentlichungen](#)

[Vorherige Seite](#)   [Nächste Seite](#)   [Kurzliste](#)   [Suchverlauf](#)   [Download](#)

 *Katalog-  
menü*    *Such-  
menü*    *Mail*    *Hilfe*

Frankfurt a. M. (フランクフルト・アム・マイン)

Johann-Wolfgang-Goethe-Universität

ヘッセン州コンソーシアムの中央機関でもあり情報システム HeBIS のデータを作成している。

## Erlangen (エアランゲン)

### Friedrich-Alexander-Universität Erlangen-Nürnberg

ロマンティック街道・古城街道近辺の小さな街、私自身今回の図書館訪問でニュルンベルグ大学の所在地であることを知る前は聞いたこともない地名だった。この小さな街に到着したのが日曜日だったこともあり旧宮殿前広場を中心に市場ができお祭りが行われていた。私が予約したAltstubeは家庭的な雰囲気のパensionでエレベーターなんてないからどうしようと思っていたらスタッフの女の子が重いスーツケースをさっともちあげ、階段を昇っていくではないか。部屋のテーブルにはフルーツとチョコレートがかごにもられ、長く滞在したくなるような居心地のよさ。翌日訪問する図書館の場所確認をかね、街に出た。晩夏のワイン祭りだろうか、いかにも南ドイツらしい陽気な楽団の調べが街中に響き渡り、すれ違う人が皆笑顔で“Grüss Got”(南ドイツ方言で“こんにちは”)と声をかけてくる。そういえば日程の調整がつかず訪問を断念せざるをえなかったヴィースバーデンの大学図書館の方も「ワイン祭りがあるからぜひ来てください」というメールを送ってくれた。(残念)



花が咲き乱れ噴水がまぶしいしぶきをあげている宮殿の庭園をぬけると、エアランゲン・ニュルンベルク UB の旧館と新館が通りを隔てて立っている。旧館はレンガの壁につたがからまり、建物自体が博物館のような歴史を秘めている。それに対し新館は赤と黒を基調にした現代的なビル。まったく雰囲気の違う建物が地下道でつながっているとは夢にも思わなかった。新館9層、旧館6層の書庫を有するこのUBも蔵書が4百



万を超えるため、さらに地下に書庫を増設するという。資料保管のスペースがないというのは万国共通の悩みのように新館を増築したのにこの問題は解決できなかったと Dr. Schletz は苦笑していた。この UB も次に紹介するバイロイトもバイエルン州コンソーシアム (BVB) のメンバーで分類はレーゲンスブルグ分類法を使用している。

## Bayreuth (バイロイト)

### Universität Bayreuth

ワーグナーゆかりの音楽祭の街。大学は Richard-Wagner-Festspielhaus (祝祭歌劇場) とは逆方向になるのだが街全体にオペラの残響が感じられる。バイロイト大学は奇抜な赤色を基調とした建物を街郊外の緑の中に点在させている。中央館の他に法学、数学、生化学、地学の学部図書館がある。音楽に関する資料は街の中心にある研究所に収められている。ドイツでは大学ごとにコレクションの課題があり、バイロイトはアフリカに関する資料を収集することになっているため、社会科学、自然科学、哲学、言語学、文学などあらゆるジャンルのアフリカの資料がそろっている。

貴重書は金庫に保管され Dr. Gassong 自身見たことはないという。私の目には「これだって貴重書でしょ！」と思われるような資料がたくさん普通の書架に並べられていた。

## Bamberg (バンベルク)

第2次世界大戦の戦禍をまぬがれ中世のたたずまいを現在に残す古都。旧市街地の丘にそびえたつ4本の尖塔をもつ大聖堂。タイムスリップしたかのような小路に沿う家並み、石畳の道、レグニッツ川の両サイドには窓に花を飾った家が並び、おもちゃ箱の中にはいつてしまったようだ。実はバンベルク大学からメールの返事はもらえなかったのだがどうしてもまたこの街が見たくて来てしまった。アポなしだから時間を気

にする必要もない。高い石塀に囲まれた緑の中にキャンパスはあった。図書館が見当たらないので通りがかりの男性に尋ねたところ、このキャンパスにあるのは学部の図書館だけだという。せっかく来たのだからと、中にはいったもののさすがアポなしでいろいろ質問する勇気はなく Information にあったパンフレットをもらい、OPAC を検索して「データはエアランゲンやバイロイトといっしょだな」と確認しバンベルクをあとにした。

## Stuttgart (シュツットガルト)

### Universität Hohenheim

正午ホテルチェックイン、16時にアポ、シュツットガルト市内だから楽勝だろうと鼻歌まじりで中央駅に到着。しかし Web で予約したホテルはなんと市の最北端、そして Hohenheim 大学は最南端。前もって地図で確認しておかなかった自分のうかつさを後悔する暇もなくスーツケースを部屋に投げ入れ、再び駅まで走って電車に飛び乗った。

シュツットガルトはバーデン・ビュルデンプルグ州なのでこの UB は SBW に属しており分類はレーゲンスブルグ分類法を採用している。SBW の他にシュツットガルト近郊の大学・公共図書館が参加する BISSCAT、シュツットガルト市内の UB による StOPAC もある。

## Heilbronn (ハイルブロン)

### Fachhochschule Heilbronn

正確にいうとここは Universität (大学) ではなく Hochschule (専門単科大学) である。私の“訪問したいメール”に一番早く回答を送ってくれ、しかもうちは大学じゃないからといいつつ非常に私の訪問を期待しているような親しみのある文面であった。その上ハイルブロンの駅まで迎えにきてくれるというではないか。その後も待ち合わせの時間や場所やどうでもいいことでメールのやり取りをしていた。面識もないのにド

イツに「メル友」ができた感じ。UBに向かう車の中では、クライスト（注1）の戯曲 *Kätchen von Heilbronn* のことや、今年の夏は猛暑だ（確かに暑いけど日本のような蒸し暑さがまったくないので私には快適、快適）とか、Schanbacher 氏が読んだことのある日本の小説のことなど話が弾んだ。

これまで訪問した図書館に比べると規模は小さいが機能的な図書館だった。独自の分類法、もしくはレーゲンスブルグ分類法を使っている UB が多いドイツではめずらしく DC を採用している。

## Tübingen (テュービンゲン)

### Eberhard-Karls-Universität

#### Tübingen

ヘッセ、ヘルダーリン、ヘーゲル、シェリングなど数々の作家、詩人、哲学者が大学時代をすごした街。ネッカー川にかかるエバーハルト橋を渡って大学に向かう道筋も多くの本屋さんが並び、学生が目立つ。1477年創立の大学というだけあって図書館も風格がある。ここでは Dr. von Egidy 館長が私を待っていてくれた。物静かな口調の中に威厳さえ感じられて私は萎縮してしまっていたが自らコピーを入れてくれる親切な方だった。目録は SBW



Die Tänzerin von Izu, Tausend Kraniche und andere ausgewählte Werke / Kjell Strömberg: Kleine Geschichte der Zuerkennung des Nobelpreises an Yasunari Kawabata. Bunkichi Fusimori: Leben und Werk von Yasunari Kawabata. - Zürich : Coron-Verl., o.J. [um 1970] (Nobelpreis für Literatur. Nr 61 [Vielm 63], 1968)

Universitätsbibliothek Tübingen  
Signatur: 11 A 1271

のデータに独自の分類を付与している。遡及は50%しか済んでいないが外注はしない方針だという。

ユーザーはOPACの検索結果をプリントアウトし貸出カウンターに申し出る。私が訪問したUBのほとんどがこの方式であった。

## **Stuttgart**

### Universitätsbibliothek Stuttgart

ここもアポなしだったのでパソコンコーナーでOPACを検索しただけ。OPACは誰でも自由に使えるがインターネットは利用者登録が必要。(別表6) メール用のパソコンも5台用意されていた。

## **München (ミュンヘン)**

### Ludwig-Maximilians-Universität München

8月も下旬になるともうすでに秋の気配。しかも残暑とか初秋なんて通り越して晩秋の肌寒さである。

ミュンヘンはバイエルン州の州都であるから当然のことながらこのUBはBVBに属しており、目録・分類ともBVBに準拠している。CJKなど特殊文字の資料は各学部図書館で各々の言語でカード整理しているため中央館で所蔵しているのはアルファベットの資料だけである。

### Technische Universität München

工科大学らしい建物、無機質ではあるが機能的。私を待っていてくれたZeizigさんは若い女性で、受け入れ、整理、雑誌、閲覧などすべての部署を案内してくれた。(ハード面でシステムをサポートするパソコン専門のスタッフの部屋まで) 最後は館長との歓談。日本の大学(大学生)や図書館のことだけでなく残業とか退職金についてなど興味津々と質問が続いた。(注2) 4年後ミュンヘン郊外に新キャンパスが完成するからまたぜひ来てくださいと笑顔で送ってくれた。

別表 6

UNIVERSITÄTSBIBLIOTHEK STUTTGART  
BENUTZERANMELDUNG

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- Student(in) der Uni Stuttgart (1) Matrikel-Nr. . . . . Studienfach . . . . .
- Lehrkörper der Uni Stuttgart (2)
- andere Beschäftigte der Uni Stuttgart (3)
- Student(in) der FHT Stuttgart (4)
- Student(in) der BA Stuttgart (5)
- Student(in) einer anderen Hochschule (6)
- Privatperson (7)

Herr (1)     Frau (2)

Nachname . . . . . Akad.Grad/Titel. . . . .

Vorname . . . . . Geb.Datum . . . . .

**Semesteranschrift:**

Straße, Hausnummer . . . . .

ggf. Zusätze . . . . .

Postleitzahl, Ort . . . . .

**Heimatanschrift: (nur falls nicht identisch mit Semesteranschrift)**

Straße, Hausnummer . . . . .

Postleitzahl, Ort . . . . .

Staat . . . . .

**Institutsanschrift: (nur für Beschäftigte der Uni Stuttgart)**

Institut . . . . .

Straße, Hausnummer . . . . .

Postleitzahl, Ort . . . . .

Telefon . . . . .

**An welche Adresse sollen unsere Schreiben gesandt werden?**

Semesteranschrift     Heimatanschrift     Institutsanschrift (Hauspost)

-----  
Die angegebenen Daten werden für das EDV-Ausleihsystem der Universitäts-Bibliothek Stuttgart gespeichert.

Ich habe davon Kenntnis genommen, daß sich die gegenseitigen Rechte und Pflichten nach der Benutzungsordnung richten. Mit der Unterschrift bestätige ich, daß ich für Mißbrauch des Ausweises hafte und für verlorene oder beschädigte Bücher Ersatz leiste.

**Der Verlust des Ausweises ist der Bibliothek sofort mitzuteilen!**

Die Ausstellung eines Ersatz-Ausweises ist gebührenpflichtig (5,-DM)

Datum . . . . .      Unterschrift: . . . . .

私の図書館訪問の旅もいよいよ最終楽章。列車の右側にライン河が見えた時「やっとドイツに帰ってきた」と感じた。それまで半月以上ドイツに滞在していたにもかかわらずラインの流れを見て初めて心が落ち着いた……そしてケルン大聖堂の尖塔が見えてきた。

## Wuppertal (ブッパータル)

### Bergische Universität Wuppertal

14学部を有するこの大学の中央図書館は10階建ての巨大なビルで各階に主題別に資料が収められている。7階にはパソコンセンターがありプリンタ、スキャナもそろっている。利用を申し込めば2時間まで無料。(もちろんUBのユーザーに限る) Postabteilung (郵便課) では年間2万件にのぼるILLの業務を集中的に行っている。

ここのコレクションは英米文学ということで、アメリカ、イギリスだけでなくアイルランド、カナダ、オーストラリアの文学作品、作家研究、文学史の著書が収集されている。そのため海外からのILL申し込みも多いという。

ノルトライン・ヴェストファーレン州にあるのでHBZのメンバーである。

## Köln (ケルン)

### Universität zu Köln

私の研修についていろいろお世話してくださる Dr. Depiping と初めて会った。これまで電話やメールで何度も話してきたので初対面という感じがしなかった。研修期



ケルンの大聖堂 (ホテルの窓から)

間中、HBZのデータを作成しているHochschulbibliothekzentrums Norerhein-Westfahlen（図書館専門大学）を訪問すればいいと提案してくれた。

## Bonn（ボン）

### Rheinische Friedrich-Wilhelms-Universität Bonn

1990年まで、旧西独の暫定首都がおかれていたとは思えないほど閑静な街。こぢんまりとした市街を歩いていくと鮮やかな山吹色の選帝侯の城館が見える。これがボン大学である。建物の背後には広大な庭園が広がり芝の緑がまぶしかった。Dr. Vogt 館長はドイツ人としては小柄な女性。首都機能がなくなったとはいえ海外から多くの訪問客を迎えているだけのことはあって、社交的な明るい雰囲気的女性だった。案内役の Dr. Specht も陽気な女性で話が弾んだ。夏期休暇中というのにパソコンコーナーは学生であふれ雑然としている。しかし Lesesaal（閲覧室）のドアを開けた瞬間、私は思わず息を飲み込んだ。広い閲覧室が満席だというのに恐ろしいほど静か。何も聴こえない。

「これが大学図書館だ」

日本の大学がアミューズメントパーク化していると言われたのは何年前だったか、今ではその危機感すら忘れ去られている。「大学」から「大楽」へ……。

しかしドイツには真の大学が残っている。窓の外のラインの川面がまぶしかった。

Dr. Gebauer はコンソーシアムに関する資料をプリントアウトして待っていてくれた。各コンソーシアムのデータについて、また、オンライン予約システム、JASON、PICA（注3）についてのレクチャーに続き、実際に HBS のデータを取り込んで蔵書情報を付与するという一連の処理を実践しながら説明してくれた。できの悪い生徒が個別指導をうけているような神妙な面持ちで聞いていた私が「私も OCLC を使って同じように仕事しています」と言うと、初めて彼は笑って言ってくれた“Ja,

wir sind Kollegen”（私達は仲間ですよ）

## Essen（エッセン）

### Universität-Gesamthochschule Essen

「迷子にならないように気をつけて来てください」というメールは冗談ではなかった。キャンパスが広すぎて図書館が見つからない。ドイツでは遅刻は厳禁、必死で走った。

「閲覧カウンターの運番業務は職員が交替でしています」と話すと今までどの図書館でも怪訝な顔をされた。あとで述べるがドイツでは一口に図書館員といっても3段階のレベルがあるので Kataloger が貸出・返却の仕事をするなんて考えられないのだ。しかしここエッセンでは午前は Katalogisierung 午後は Information というようにフレキシブルに勤務している。どこの UB でも上級レベルの図書館員は個室で仕事している。情報という知的財産を創る環境としては最適であろう。図書館員が情報や知識を組織化し、維持発展管理する立場であることは理解できるが、人的コミュニケーションが欠如しているのではないかと疑問に思っていたのでエッセンの考え方には賛成である。ウィリアム F. バーゾールは「図書館員は人間志向的サービス専門職である」といつている。（注4）ドイツでは図書館員の専門性を「資料を知る」ことに重点をおいている気がするのだがユーザーを知ってユーザーと資料を結びつけることも重要である。図書館の使命はもはや「情報の保管」ではなく「情報の提供」にあるのだから。

## Bochum（ボッフム）

### Ruhr-Universität Bochum

学生時代1年間ここでドイツ文学を勉強した。もう20年がたつというのにキャンパスはあの頃のまま。メールでボッフムに留学していたことを話したためか Dr. Lapp 女史はとても親切で、他大学との日程調整のた



めアポの変更を2度もお願いしたにもかかわらず「好きな時にいらっしやい、いつでも歓迎です」と言ってくれた。Dr. Lapp 女史が非常に好意的だったのは、彼女自身、学生時代にひとりでアメリカの図書館をまわって苦勞したから。ドイツの図書館界は保守的で制約が多く、国内志向性が強いからアメリカで働きたいと話してくれた時、私がエッセンで考えていたこととシンクロして嬉しかった。冷たい雨が降る日だったが、図書館員の精神的な面について話ができて心温まる一日だった。

(注1) Heinrich von Kleist (1777–1811) ドイツの劇作家。ゲーテ、シラーと同じ時代に数多くの傑作を残したが生前はその才能が認められず2作品しか上演されなかった。そのひとつが「ハイルブロンンのケートヒェン」である。私は彼の短編「ロカルノの女乞食」を卒論のテーマにした。

(注2) ドイツでは残業しても手当ではなく他の日の勤務時間が短くなる。そもそも残業自体あまりない。Zeizig 女史も「お金より時間がほしい、でも退職金はうらやましい。」と言っていた。

(注3) PICA はオランダで作られたシステムで主にニーダーザクセン州で使われているがダルムシュタットも採用している。JASON はノルトライン・ヴェストファーレン州で利用されている。全国規模のものとして Subito (Lieferdienst der Bibliotheken) が有名。

(注4) 「電子図書館の神話」ウイリアム F. バーゾール著 根本 彰  
他訳 勁草書房 1996







### 3. Bibliotheksverbund

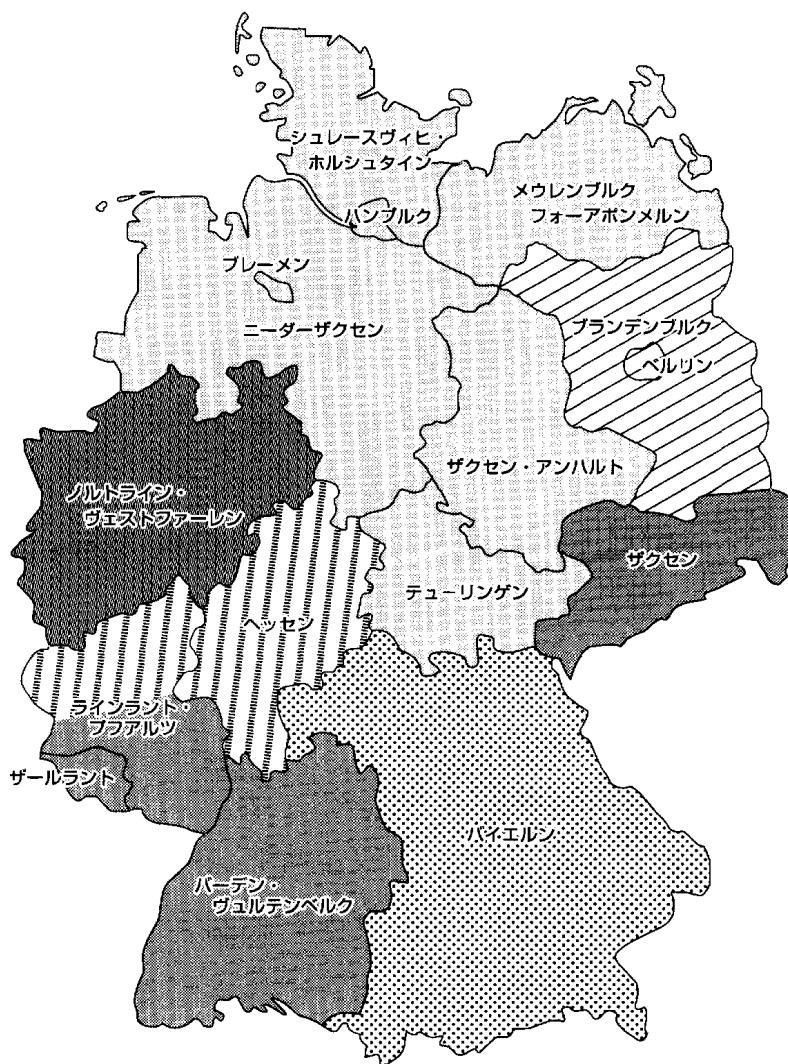
ILL、ドキュメントデリバリーサービス、コレクションの共同構築、デジタルアーカイブなどこれからの図書館の使命はグローバルに情報や資源を共有し速やかにユーザーに提供することである。連邦共和国というドイツの国家形態はとりわけ文化・教育の面で州の独自性を尊重して

いる。州内の文化・教育機関の連携は強く、図書館コンソーシアム (Bibliotheksverbund) も高度に発展している。図書館が単体で機能していることはなく下記に紹介するいずれかのコンソーシアムに属している。(別表7) これらのコンソーシアムへのリンクはエッセン UB の HP からが便利。

<http://www.bibl.uni-essen.de/bibfremd/biblverb.htm>

別表7

	HBZ
	BVB
	GBV
	SWB
	HeBIS
	BVBB



\* Nordrhein-westfälischer Bibliotheksverbund

(HBZ=Hochschubibliothekszentrum)

ノルトライン・ヴェストファーレン州内の UB のユニオンカタログで  
医学・農学の分野では中央図書館的存在。(別表 8)

別表 8

**Titelvollanzeige**

Hilfe

Ergebnisliste

In den Korb

Lokalisieren

Zurück

Wählen Sie ein Format: [Standard](#) [Katalogformat](#) [Feldnamen](#) [Feldnummern](#)

Titel 26 von 29

Satz zurück

Nächster Satz

**1.Person** Westerwelle, Kai  
**Titel** Rechtsanwaltssozietäten und das Verbot der Vertretung widerstreitender Interessen .  
**Verfasserang.** Kai Westerwelle  
**Ausgabebezug.** 1. Aufl.  
**Ort** [Baden-Baden](#)  
**Verlag** [Nomos-Verl.-Ges.](#)  
**Jahr** 1997  
**Umfangang.** 177 S.  
**1.Gesamttitle** Nomos-Universitätschriften : Recht ; Bd. 239  
**Hochschulschr.** Zugl.: Trier, Univ., Diss., 1996  
**ISBN** 3-7890-4643-4 brosch.  
**Glied 1. SWK** [Anwaltssozietät](#)  
**Glied 1. SWK** [Parteierrat](#)  
**Überordnung** Nomos-Universitätschriften / Recht. 1989  
**Bibl.(s.Sigelliste)** T0011  
**Bibl.(s.Sigelliste)** B3001  
**Bibl.(s.Sigelliste)** Q0001  
**Bibl.(s.Sigelliste)** X0001  
**Exemplardetails** [Alle Exemplare](#)  
**Exemplardetails** [294/39 BO: FakB Rechtswiss.](#)  
**Exemplardetails** [385 TR: UB](#)  
**Exemplardetails** [5 Bonn, ULB](#)  
**Exemplardetails** [61 D: ULB](#)

Satz zurück

Nächster Satz

Klicken Sie auf eine unterstrichene Feldbezeichnung, um zur Indexliste zu kommen.  
Klicken Sie auf einen unterstrichenen Feldinhalt, um verknüpfte Titel zu sehen.  
Bestandsinformationen (besitzende Bibl.) sind in den Feldern "Bibl." und "Exemplardetails" zu finden.  
Zur Auflösung der Bibliothekskennzeichen und Sigel in diesen Feldern benutzen Sie bitte die [Sigelliste](#).  
Klicken Sie auf "Alle Exemplare" bzw. das Sigel einer einzelnen Bibliothek, um detaillierte Exemplarinformationen zu erhalten.  
Eine Bestellmöglichkeit aus der Datenbank heraus ist noch nicht möglich.

\* Bibliotheksverbund Bayern (BVB)

バイエルン州の UB 並びに公共図書館のコンソーシアム (別表 9)

別表 9



## Vollanzeige

Zur Homepage

Datenbank: Bibliotheksverbund Bayern

Neue Suche

Hahn, Hans:  $\neg$ Die $\neg$  systematische Beurteilung von Bildschirmarbe

Anzeige im  
Kategorienformat

$\neg$ Die $\neg$  systematische Beurteilung von Bildschirmarbeit : eine Arbeitshilfe  
die Fachkraft für Arbeitssicherheit / Hans Hahn ; Dieter Lorenz.  
Bundesanstalt für Arbeitsschutz und Arbeitsmedizin. - 2., unveränd. Auf  
Stand: April 1998

Anzeige im  
Feldformat

Dortmund : Bundesanstalt für Arbeitsschutz und Arbeitsmedizin, 1998. -  
S. : graph. Darst.

Signaturen-  
übersicht

Bestellkonditionen

Bestellmöglichkeiten:

Orts- / Fernleihe

Direktlieferung / Sub

Hilfe

Kosten und  
Bedingungen

Kosten und  
Bedingungen

### Querverweise:

Autoren/Mitarbeiter

Hahn, Hans, Lorenz, Dieter

Verlag(e)

Bundesanstalt für Arbeitsschutz und Arbeitsmedizin

Verlagsort(e)

Dortmund

### Bestand

Bibliothek/Sigel	Anzeige der Exemplare (Anzahl)
Bayerische Staatsbibliothek	1

Ausgeführte Funktion: **SUCHE Lokale**

Identifikationsnummer=00122561422

**Ist das Gewünschte nicht dabei?** Bitte Trefferliste nochmals sorgfältig  
überprüfen, ggf. neue Suchanfrage mit anderen Begriffen starten.

\* Gemeinsamer Bibliotheksverbund (GBV)

ブレーメン、ハンブルグ、メクレンブルグ・フォアポンメルン、  
ニーダーザクセン、ザクセン・アンハルト、シュレスビヒ・ホル  
シュタイン、テューリンゲンとドイツ北東部7州のUBを統括する大  
規模なコンソーシアム (別表10)

別表10

The screenshot shows the GBV search interface. At the top, there are navigation links: Home, GBV Info, Hilfe, and Kontakt. The search bar contains the query 'kleist' and is set to 'Suche (und)' with 'alle Wörter <ALL>' selected. The results are sorted by 'Erscheinungsjahr'. The search results section shows the following information:

**Recherche**

Ihre Eingabe war:  
**Suche (und) (alle Wörter <ALL>) kleist** zurück weiter  
Es sind 4012 Treffer. (Tipp: Stellen Sie die  
Sortierung auf Relevanz ein.)  
Dies ist Treffer 9.

**Titel:** Peter Huchel in Wilhelmshorst : 1950 -  
1971 / Horst Münteisen. - Frankfurt  
(Oder) : Kleist-Gedenk- und  
Forschungsstätte, 2001

**Schriftenreihe:** Frankfurter Buntbücher ; 32

**ISBN:** 3-9807802-4-4

Verfügbarkeitsinformation der Bibliotheken

< 32 > Weimar, Herzogin Anna Amalia Bibliothek

Achtung: nicht immer ist alles, was Sie hier  
finden, lokal tatsächlich verfügbar. zurück weiter

Titel Bestellen zugehörige  
kopieren Veröffentlichungen

\* Sudwestdeutscher Bibliotheksverbund (SWB)

バーデン・ヴュルテンベルグ、ザクセンとラインラント・プファルツ南部の UB が参加。(別表11)

別表11

**BSZ** Recherche im Katalog des SWB

**Lichtschranken : Anwendungen in d. industriellen Automation / von Manfred Rascher u. Hermann Klemmt**

**Autor/Herausgeber:**

Rascher, Manfred  
Klemmt, Hermann

**Veröffentlicht:**

Heidelberg: Hüthig, 1987

**Seiten:**

122 S.

**ISBN:**

3-7785-1347-8

**Schlagwörter:**

s.Lichtschranke

**Identifikationsnummer Titel:**

1295991

**Weiterführende Informationen:**

- Anzeige im Kategorienformat
- Rezension
- Rezension

**Bestandsliste:**

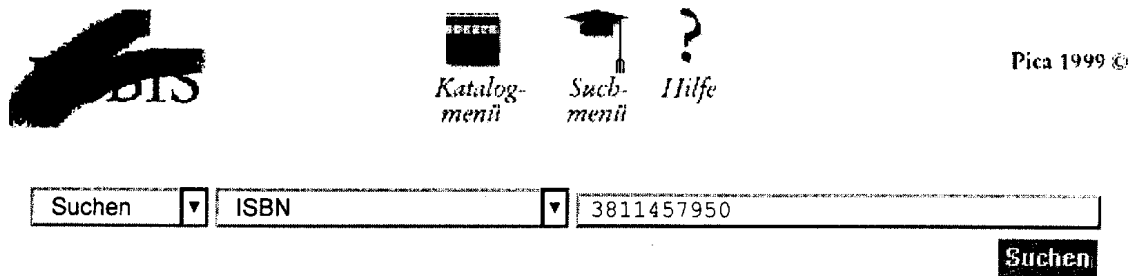
Bestand	Bibliothek	Sigel	Signatur	Ex.
01	KALB	31	87 A 9348	
02	KAUB	90	*87 A 2149	
03	KAPH	751	UB 11.5 RAS	1
04	KLUB	386		2
05	KNWEPH	747	FE ras	1
06	MAFHTE	953	E VII	1
07	TUSIFA	991	AuSe 255	1
08	S1UB	93	3M 4693	
09	S2AAFH	944	658.5 Ras	4
10	ULFH	943	621.383 Ras	2
11	ULFH	943	621.383 Ras	4
12	DDSU	14		9
13	BSZWTH	Zwi 2		4
14	C1MIFH	Mit 1		1
15	DDKF	D 120		1
16	FGBA	105	89.2338 8.	1
17	L1FH	L 189		3
18	DDFHTW	520		1

Neue Suche

\* Hessisches Bibliotheksinformationssystem (HEBIS)

ヘッセン州と SWB に属さないラインラント・プファルツ州の UB によるコンソーシアムでその書誌データベースのタイトル数は2200万、650館が加盟している。(別表12)

別表12



[Kurzliste](#) [Suchverlauf](#) [Download](#) [Fernleibe](#) [Nutzerdaten](#) [Bestandsinfo](#)

Finde ISB 3811457950  
Ein Treffer

 Abspeichern

Bühler, Christoph:

Die strafrechtliche Erfassung des Mißbrauchs von Geldspielautomaten / von Christoph Bühler. - Heidelberg : Müller, Jur. Verl., 1995. - XXIII, 225 S.

(Schriften zum gesamten Wirtschaftsstrafrecht ; 22)

Zugl.: Tübingen, Univ., Diss., 1994

ISBN 3-8114-5795-0

SW: Geldausgabeautomat ; Automatenmissbrauch

SG: 19;17




DS: Aaxc | SP: ger | EL: de

0004 uni marburg (4) 0026 uni giessen (26) 0030 uni ffm mit stub/seb (30)

0077 uni mainz (77)

► [zugehörige Veröffentlichungen](#)

[Kurzliste](#) [Suchverlauf](#) [Download](#) [Fernleibe](#) [Nutzerdaten](#) [Bestandsinfo](#)

    
*Katalog-  
menü* *Such-  
menü* *Hilfe*

**\* Bibliotheksverbund Berlin-Brandenburg (BVBB)**

ベルリンとブランデンブルグ州の UB、専門図書館、公共図書館からなるコンソーシアム。データベースは Berlin- OPAC と呼ばれている。

各コンソーシアムにはコアとなる中央館があって書誌データを作成しているがメンバー館が書誌データを登録することもある。ドイツにはアメリカの LC、イギリスの BL にあたるようなユニオンカタログはなく、目録規則や分類法も Verbund によって異なっている。(注1) 参加館は自館システムに書誌をダウンロードしてから蔵書情報を付与して登録。こうして構築されていくオンラインカタログで検索したユーザーは所蔵館を把握して ILL を依頼する。コンソーシアム内であればインターネットで予約ができる。(GBV と HeBIS は検索結果の画面からそのまま予約可能) 他のコンソーシアムの UB に依頼する時は所定の用紙に記入して Fernleihe (遠隔貸出) の担当者に提出する。料金はコンソーシアム内外を問わず DM2. 39 (約141円)。(注2) これは郵送料込みで、国外の図書館との ILL には別途料金がかかる。EJ や外部データベースについては各 UB から分野の専門家が集まり、協議して共同購入する。






州が中心となっているコンソーシアムの他に地域を越えたコンソーシアムもある。

**\* Deutsche Bibliotheksinstitut (DBI)**




ドイツ図書館研究所は、図書館のサービス提供を高める目的で1978年ベルリンに設立された。州の独立性が高いドイツの図書館制度の中で唯一連邦と州が共同して機能している。大規模な中央目録機関を管理しドイツ機械可読総合目録 (VK) や雑誌データバンク (ZDB) を構築している。OPAC ではログイン画面が出るが Guest のボタンをクリックすれば検索画面に入れる。(別表13)



別表13

**DBI-LINK**     



[ Database: BerlinOPAC | Search Query: ( ft: bibliothek ) AND ( ft: information ) | Limits: None | Results: 135 items ]

**Nr. 11**

**AU** Havekost, Hermann  
**TI** Wandlungen in der wissenschaftlichen Information  
**ST** die moderne Bibliothek als Bindeglied zwischen Forschung und Lehre  
**AS** Hermann Havekost  
**KO** 45 S.  
**PY** 1995  
**PP** Oldenburg  
**PU** Bibliotheks- und Informationssystem der Univ. Oldenburg  
**SE** Oldenburger Universitaetsreden ; 72  
**SN** 3-8142-1072-7

BER	1/1a	Haus 2	1 A 237798
BER	188		88/96/23067(3)

\* Karlsruher Virtueller Katalog (KVK)

カールスルーエ大学図書館が作成管理している総合目録でドイツ国外のユニオンカタログにもアクセスできる。7,500万タイトルのデータがある。(別表14)

\* DBV-OSI (Deutscher Bibliotheksverbund-Open Systems Interconnection)

連邦教育・科学・研究・技術省 (BMBF) とドイツ研究協会 (DFG) によってはじめられたプロジェクトで遠隔地のデータベースをオンラインで利用できるようにし、資料収集や目録作成を支援するとともに ILL の時間短縮を目的としている。

資源の共有という概念にはコレクションの共同構築もあるがドイツでは各大学にコレクションのテーマが定められている。(注3) これも地域のコンソーシアムの概念を超越したグローバルなコンソーシアムとい

## 別表14

UB Karlsruhe » Bibliothekskataloge » KVK Home »



75 Mio. Bücher und Zeitschriften in Bibliotheks- und Buchhandelskatalogen weltweit.  
Ein Dienst der UB Karlsruhe.

• Hilfe  
• Press

Home **Deutsch** English Ohne Javascript Mit Fernleihe Regionalkataloge ... **Neu!** Bibliog

---

1. Kataloge auswählen Auswahl

<input type="checkbox"/> Die wichtigsten deutschsprachigen Bibliotheken	<input type="checkbox"/> Bibliotheken weltweit	<input type="checkbox"/> Bi
<input type="checkbox"/> Südwestdt. BV	<input type="checkbox"/> Dt. Bibliothek	<input type="checkbox"/> Au
<input type="checkbox"/> Bayerischer BV	<input type="checkbox"/> TIB Hannover	<input type="checkbox"/> Ki
<input type="checkbox"/> Nordrhein-Westf. BV	<input type="checkbox"/> Österr. BV	<input type="checkbox"/> Li
<input type="checkbox"/> Hessischer BV	<input type="checkbox"/> Helveticat SLB Bern	<input type="checkbox"/> Vi
<input type="checkbox"/> KOBV Berlin-Brandenburg	<input type="checkbox"/> IDS Basel/Bern	<input type="checkbox"/> Zi
<input type="checkbox"/> Gemeinsamer BV	<input type="checkbox"/> IDS Zürich Universität	
<input type="checkbox"/> ZDB	<input type="checkbox"/> NEBIS / ZB Zürich	

2. Suchbegriffe eingeben Opti

Titel	<input type="text"/>	Jahr	<input type="text"/>	• Trefferliste
Autor	<input type="text"/>	ISBN	<input type="text"/>	<input type="text" value="Unsortiert"/>
Körperschaft	<input type="text"/>	ISSN	<input type="text"/>	• Timeout
Schlagwort	<input type="text"/>	Verlag	<input type="text"/>	<input type="text" value="60"/> Sek.
				• MAB-Link
				<input type="checkbox"/> Anzeigen

3. Suche

### Abkürzungen

- BV = Bibliotheksverbund, IDS = Informationsverbund Deutschschweiz,
- KOBV Berlin-Brandenburg = Kooperativer Bibliotheksverbund Berlin-Brandenburg,
- Libr. = Library, NB = Nationalbibliothek, NEBIS = Verbund von über 50 Schweizer Bibliotheken,
- NB = Nationalbibliothek, SLB = Schweizerische Landesbibliothek, VK = Verbundkatalog,
- ZDB = Zeitschriftendatenbank, ZVAB = Zentrales Verzeichnis Antiquarischer Bücher

### Bitte beachten Sie

- Diese Version benötigt Javascript und Cookies
- Bei Problemen verwenden Sie bitte die Version ohne Javascript.
- Wegen technischer Probleme wurde bei der Sammelsuche über die Option "Bibliotheken weltweit" der Katalog der Fraunhofer Nationalbibliothek deaktiviert. Wir bitten um Ihr Verständnis!

### Tipps zur Suche

- Rechtstrunkierung mit "?" (bei Autor geschieht dies teilweise automatisch)
- Die Suchfelder werden automatisch mit UND verknüpft
- Im Feld "Titel" können mehrere Begriffe eingegeben werden. Diese werden automatisch mit UND verknüpft
- Für eine vollständige Suche nach *Autoren* sollte der Vorname mit angegeben werden, z.B. "mueller, uwe"
- Stoppworte wie "der, die, the, and ..." sollten vermieden werden
- Ausführliche Infos und Tipps

### Ansprechpartner

- Für bibliographische Fragen: Elektronische Auskunft der UB Karlsruhe  
E-Mail: [auskunft@ubka.uni-karlsruhe.de](mailto:auskunft@ubka.uni-karlsruhe.de), Tel. 0721/608-3109

<http://www.ubka.uni-karlsruhe.de/kvk.html>

えるだろう。

(注1) 連邦思想が強いドイツにはLCやBLのようにすべてを包括する国立図書館はなくベルリン、ライプツィヒ(DBL)、フランクフルト(DDB)の3館が資料の収集・目録作成および出版物へのアクセスを提供する責務を負っている。フランクフルトは出版物目録化サービス、ベルリンは出版社と協力してデジタルアーカイブプロジェクトに取り組みライプツィヒは資料の保存センターとして存続している。

(注2) DM 1 = 59.39円で換算(2002年2月7日現在)

(注3) ボンはロマンス語系言語学・文学、フランス語・フランス文学、イタリア語・イタリア文学。ゲッティンゲンはイギリス語・イギリス文学。フランクフルト・アム・マインはドイツ語・ドイツ文学。ケルンは医学。ハノーファーは工学。エアランゲン・ニュルンベルグは心理学と教育学。

#### 4. Höherer-Gehobener-Mittelerer

ドイツでは図書館員の専門性はきわめて強い。しかも「図書館員」にあたるドイツ語はなく専門的なレベルで3段階に区別されている。

##### ① Höherer Bibliotheksdienst (上級レベル)

図書館制度における最上級レベルで館長、部局長、主題専門家などである。図書館学のほかに学位を取得してから図書館学教育課程(2年間)に進む。この課程はフランクフルト・アム・マイン、ケルン、ミュンヘンの図書館専門大学で開講されている。その後博士課程。私が知り合った方々もほとんどがDr.だった。

##### ② Gehobener Dienst (上位レベル)

有資格学術図書館員と有資格公共図書館員がこのレベル。Abitur(大学入学資格試験)に合格すれば専門大学でどちらかの課程が受講でき、

図書館学位号が授与される。

③ **Mittelerer Dienst** (中位レベル)

図書館アシスタント的存在。

このような厳格な階層が混在しては、図書館が人間志向的サービスを提供する機関としてうまく機能できないのではないかと私は疑問に思うのだが。

## 5. **Wir sind Kollegen**

図書館の役割が資料の保管管理から、情報サービスの提供へと変化した今、一図書館が単体で機能するのは不可能である。図書館の仕事に国境はない。話す言葉が違ってても情報を伝えるという図書館の機能は世界中で必要とされる。“**Wir sind Kollegen**” この言葉を胸に、グローバルな情報専門職をめざしてケルン大学で研修するつもりである。言葉の問題がないと言えは嘘になる。しかしそれを超越する魅力がドイツのUBにはある。今回の訪問を快く迎えてくれたドイツの図書館の皆さんに心から感謝している。

### 《参考文献》

「ドイツ連邦共和国における図書館制度の概略」 ハンス・ピーター・トゥン 三浦 太郎 訳 学術情報センター 1999

「ドイツ図書館学の遺産」 河井 弘志 京都大学図書館情報学研究会 2001

「現代ドイツ情報ハンドブック〈+オーストリア・スイス〉」 在間 進・河合 節子・山川 和彦 三修社 2000

「21世紀の情報専門職をめざして」 倉橋 英逸他 関西大学出版部 1999

Global Resource Sharing : Experiences of American Research Libraries in the

Last Decades and Future Directions in the Next Decade Mary E. Jackson (ARL アクセスサービスプログラム担当) (2000年5月22日 慶應義塾図書館にて講演)

Digital Archives : Policy, Plans and Projects of Die Deutsche Bibliothek Ute Schwens (ドイツ国立図書館副館長) (2000年12月4日京都大学附属図書館にて講演)

Library Services in the Digital Environment Jane Thacker (カナダ国立図書館) (2000年12月4日京都大学附属図書館にて講演)

「図書館司書という仕事」〈改訂版〉 久保 輝己 ペリカン社 1995

#### 訪問した大学図書館の URL

<http://elib.tu-darmstadt.de/lhb/>

<http://www.ub.Uni-Mainz.de/>

<http://www.uni-frankfurt.de/>

<http://www.uni-erlangen.de/>

<http://www.ub.uni-bayreuth.de/>

<http://www.uni-hohenheim.de/i3v/00000700/00451041.htm>

<http://intra.fh-heilbronn.de/Bibliothek/>

<http://www.uni-tuebingen.de/ub/>

<http://www.ub.uni-muenchen.de/>

<http://www.biblio.tu-muenchen.de/>

<http://www.bib.uni-wuppertal.de/homepage/index.html>

<http://www.ub.uni-koeln.de/>

<http://www.ulb.uni-bonn.de/>

<http://www.bibl.uni-essen.de/>

<http://www.ub.ruhr-uni-bochum.de/>